



安永代表と3名の従業員

経営概要

- ◆ **代表者、所在地**
安永敏雄 山口県下関市菊川町下大野
- ◆ **設立年**
令和3年9月
- ◆ **経営規模**
水稲45.2ha、小麦10.0ha
- ◆ **従業員数**
正社員3名
- ◆ **事業内容**
水稲・麦等の生産・販売

1 現状及び相談内容

家族経営により下関市菊川町を中心に近隣地区での水田を集積し水稲・麦を主体とする大規模経営を行ってきた（49ha）。近年は、常時雇用者を確保し経営展開している。令和2年2月、本人から持続的な経営発展に向けて、雇用者の就業条件整備と併せ法人化の意向が示されたため支援を行った。

2 支援内容

中小企業診断士による経営診断とともに、税理士による株式会社設立に向けての検討事項の指導。社会保険労務士による就業規則の策定、労働環境の改善などに関する助言を実施。

3 人材の確保・育成に資する取組

■ 安定雇用の環境整備

規模拡大に伴い、法人化前から従業員の雇用を開始。休憩室を兼ねる事務所等の整備など就業環境の充実や技術向上のための教育制度を導入。日々の作業の中でも、効率化・コスト最適化を指導し、後継者の育成に尽力。また、シフト制で週2日の休日取得を奨励。

■ JGAPの導入・認証取得

持続可能な法人経営を構築するため、JGAPを導入。作業の注意点や手順が明確化されてミスが減るとともに、従業員の意識が向上。今後は、JGAP認証を、主力の酒造好適米の取引量拡大に活かす予定。

■ 営農支援システムの活用

作業工程の「見える化」のため営農支援システム「アグリノート」を導入。スマートフォンのアプリを活用し、ほ場情報や作業工程を記録することで、従業員同士でリアルタイムの情報共有を実現。作業の効率化にもつながっている。



JGAP指導の様子

今後の意気込み

社員10名まで雇用を拡大し、売上1億円、経営規模100haを目指して頑張ります。

専属スタッフ所感

地域の信頼を得て、農地を集積し大規模経営を確立し雇用者の就業条件整備のため法人化した。経営計画や就業規則の整備等の専門家による支援を行った。経営専属スタッフ 山口県農協 田村尚志